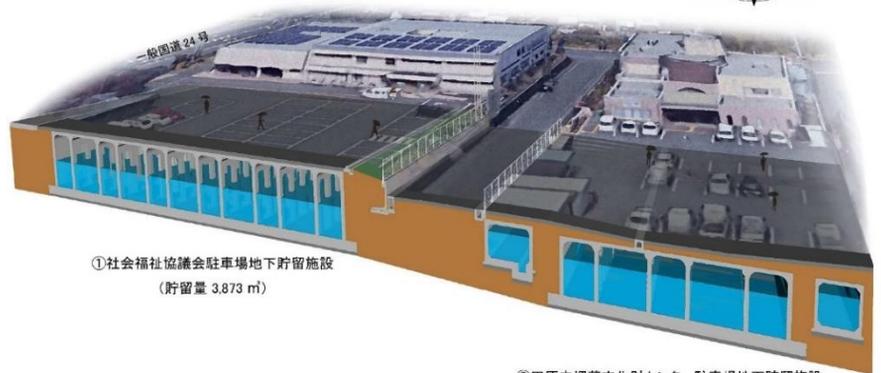
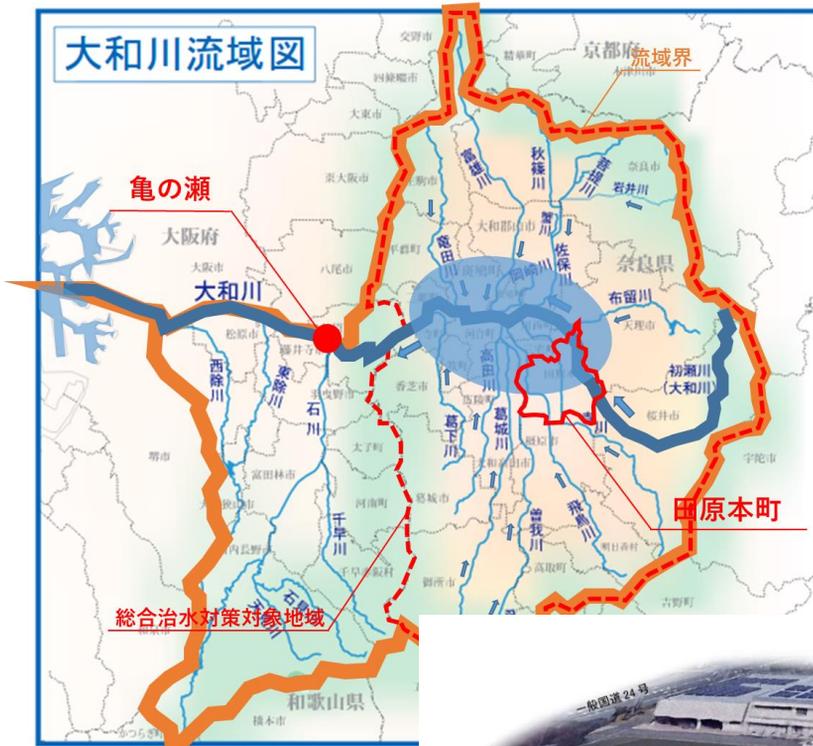


田原本町における内水被害対策への 取り組みについて



①社会福祉協議会駐車場地下貯留施設
(貯留量 3,873 m³)

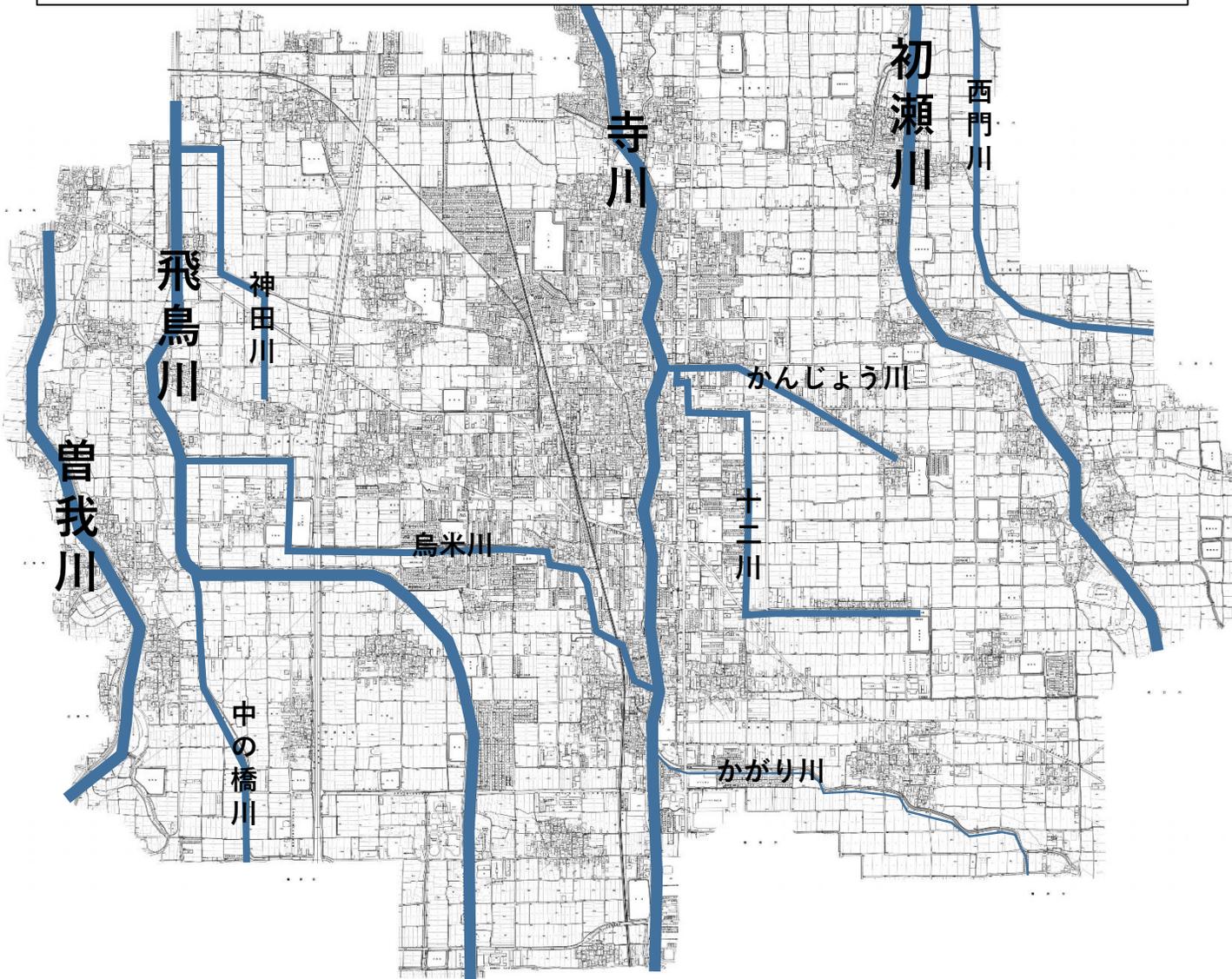
②田原本埋蔵文化財センター駐車場地下貯留施設
(貯留量 1,127 m³)

奈良県 田原本町

田原本町の概要

田原本は奈良盆地の真ん中にあり、寺川の水運によって大阪との結びつきが強く、水運と陸運の要所として商業が大いに栄え、また、豊富な水源を恩恵に農業も盛んに行われてきた地域。

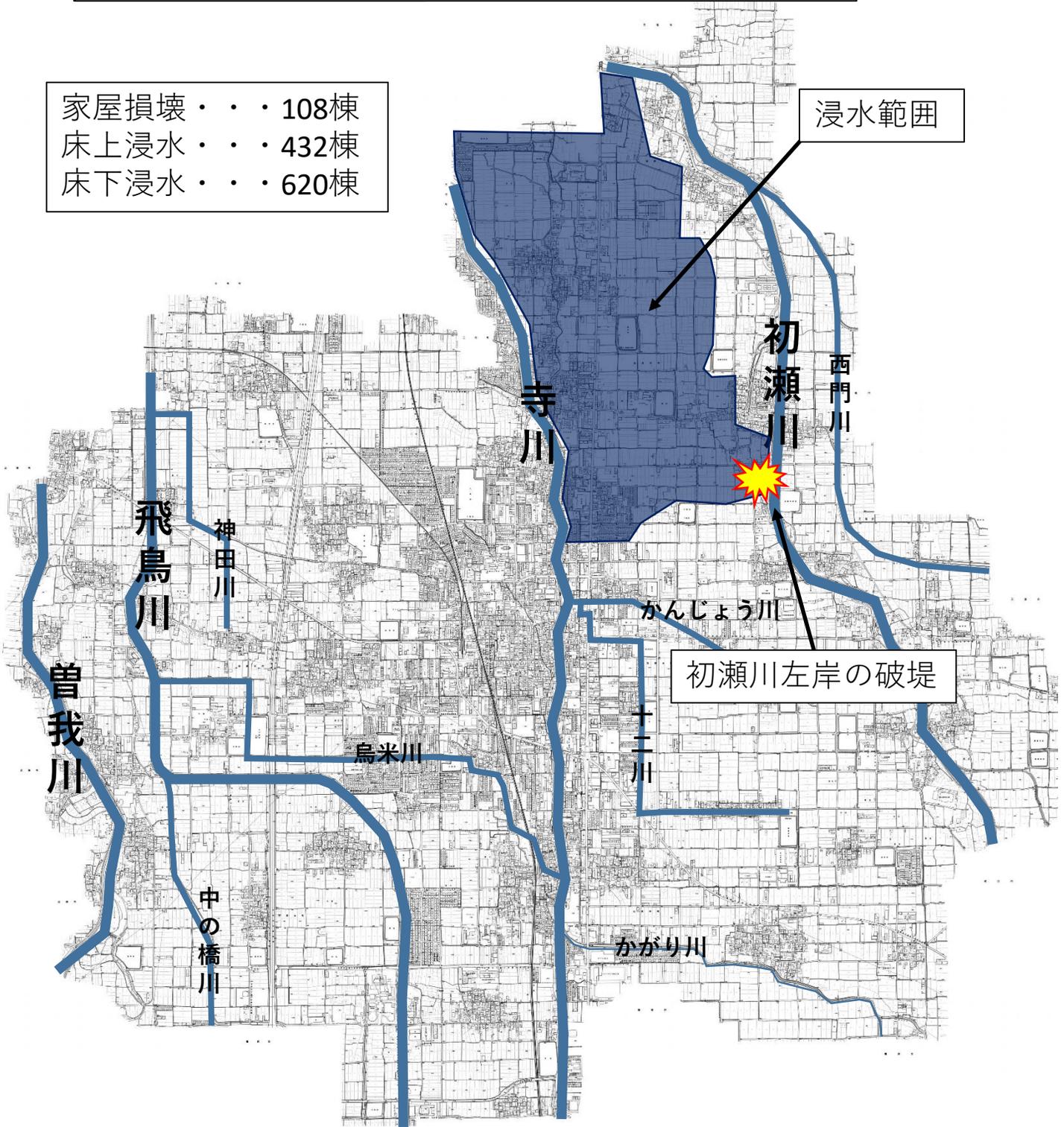
その一方、大和川の支川が数多く縦断しており、幾度も水害を経験してきた地域。



過去の水害概要

昭和57年7月31日～8月3日（57水害）

家屋損壊・・・108棟
床上浸水・・・432棟
床下浸水・・・620棟



過去の水害概要

国道24号（鍵交差点周辺）の浸水状況



浸水後の田原本町法貴寺集落周辺状況



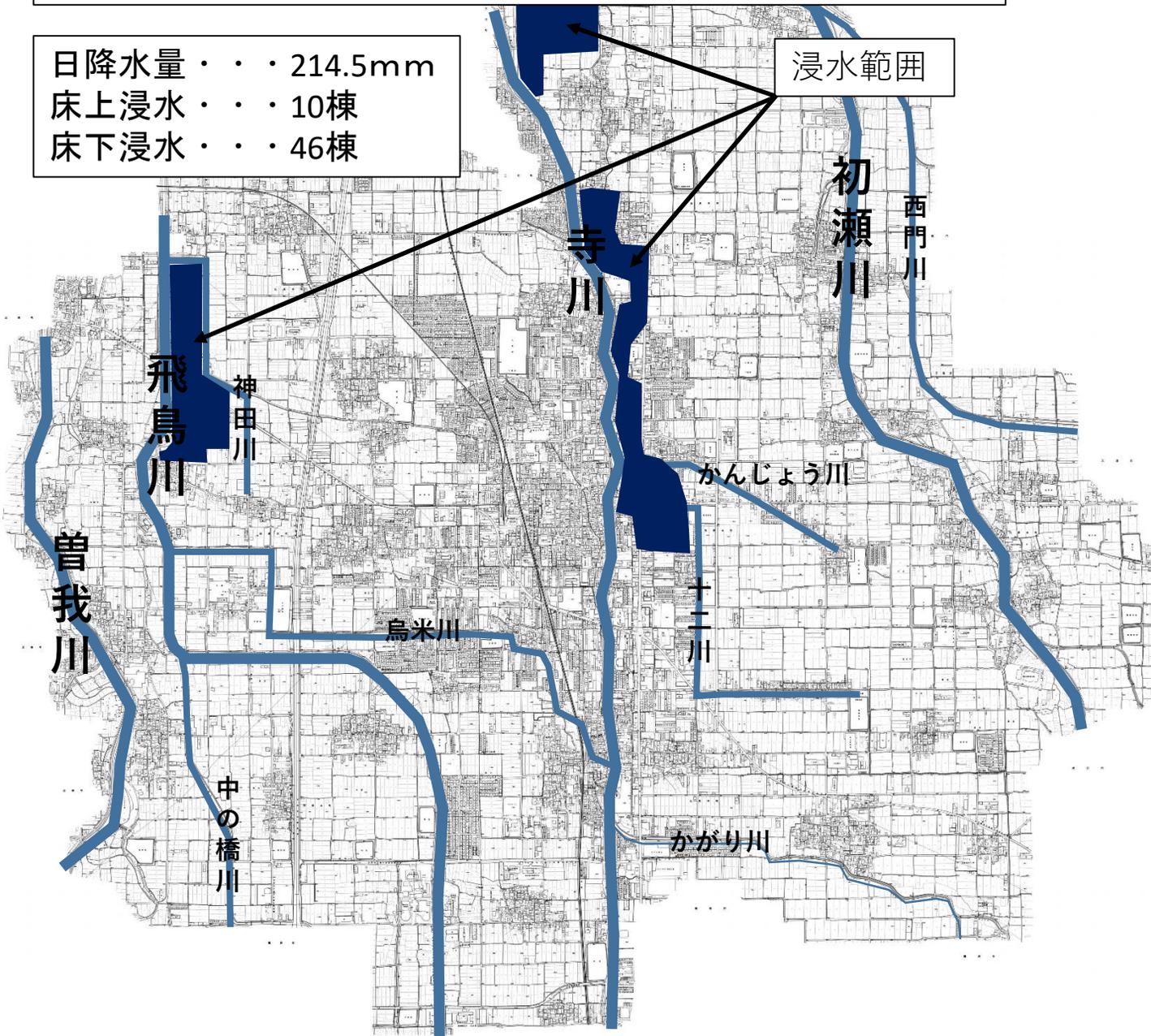
過去の水害概要

平成29年10月22日、23日
台風21号の大雨による水害が発生

大和川流域で浸水被害が発生し、田原本町も各所で床上床下浸水被害を受ける。

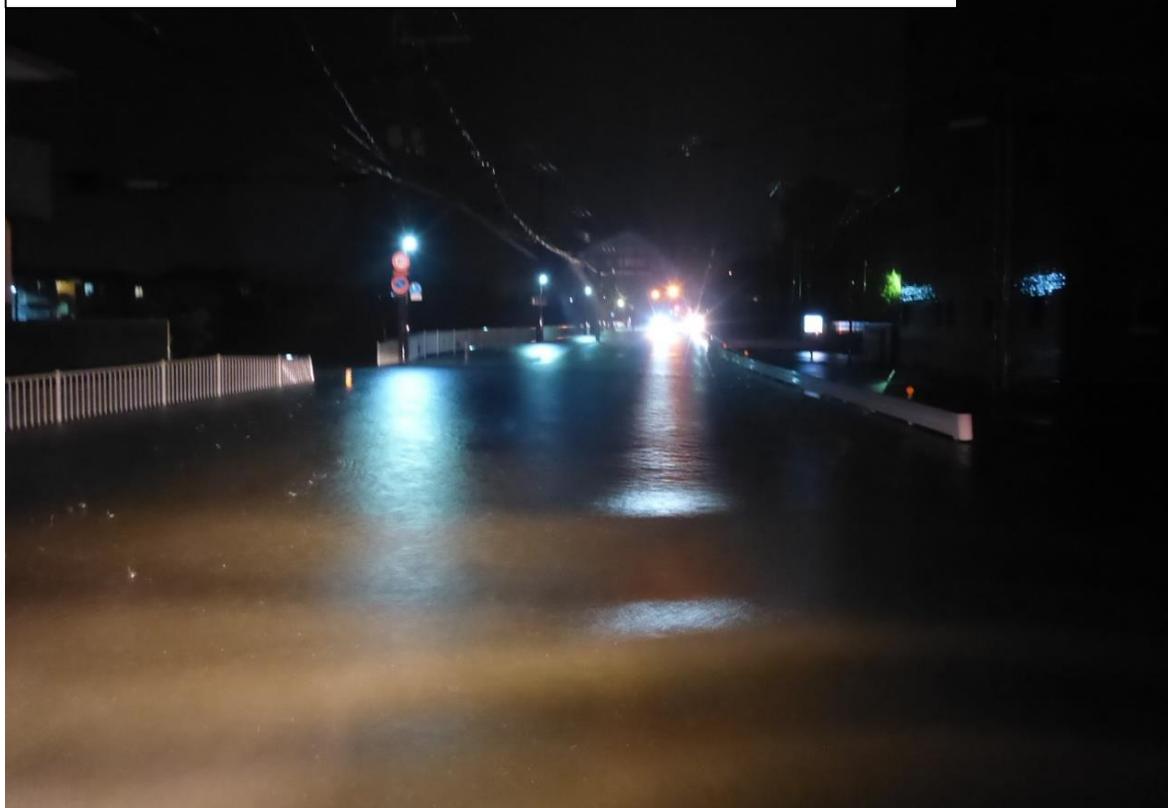
日降水量・・・214.5mm
床上浸水・・・10棟
床下浸水・・・46棟

浸水範囲



過去の水害概要

阪手交差点の県道大和高田桜井線の浸水状況



社会福祉協議会北面町道とかんじょう川の浸水状況



奈良県平成緊急内水対策事業

平成29年10月22日、23日
台風21号の大雨による水害被害を契機に

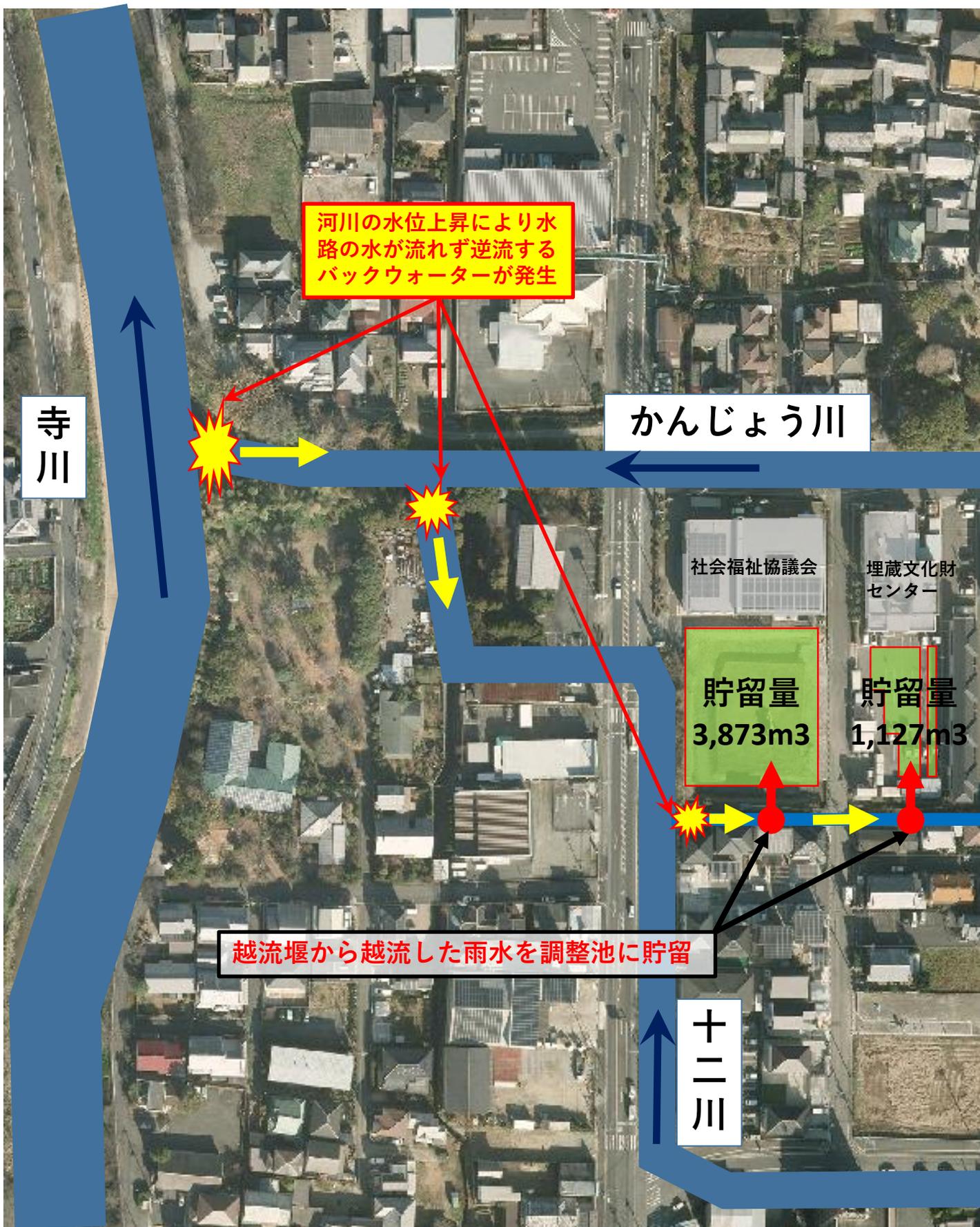
平成30年5月17日に大和川流域内における内水
被害地区で適地に必要な貯留施設等を整備していく

「奈良県平成緊急内水対策事業」 がキックオフ

田原本町は7箇所が適地候補地に選定

**社会福祉協議会駐車場他雨水貯留施設が
奈良県で第1号で工事を着手**

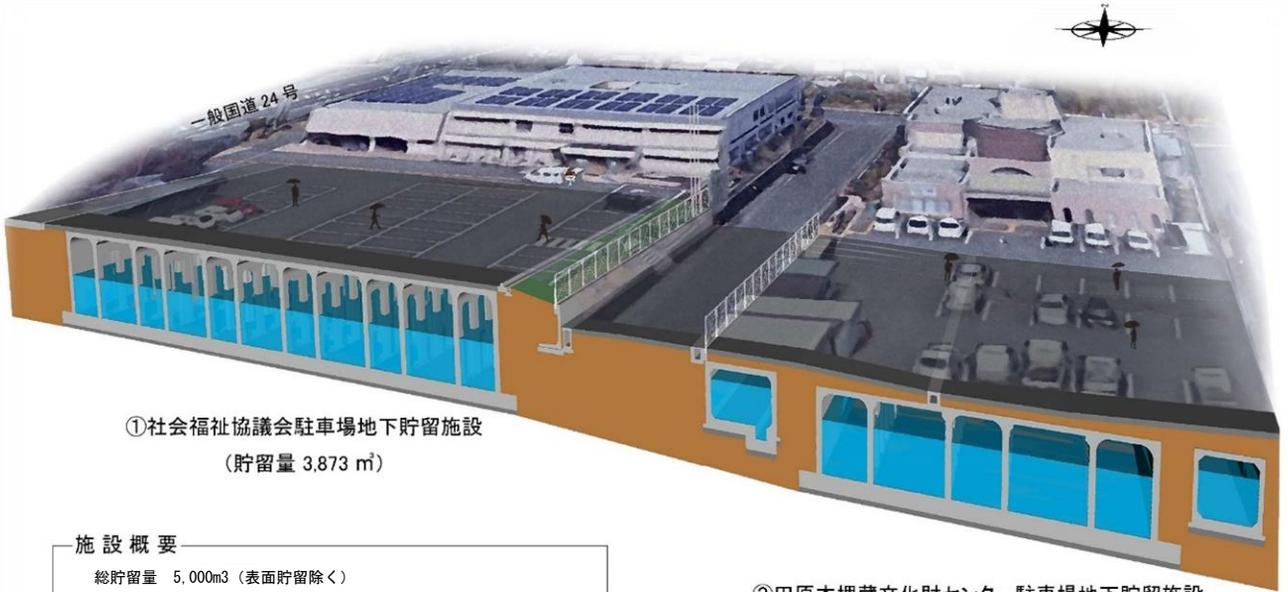
社会福祉協議会駐車場他雨水貯留施設周辺の概況



社会福祉協議会駐車場他雨水貯留施設の諸元



社会福祉協議会駐車場他雨水貯留施設の諸元



①社会福祉協議会駐車場地下貯留施設
(貯留量 3,873 m³)

②田原本埋蔵文化財センター駐車場地下貯留施設
(貯留量 1,127 m³)

施設概要

総貯留量 5,000m³ (表面貯留除く)

構造 プレキャスト式雨水地下貯留施設

諸元 ①貯留量3,873m³ , 設置面積1,148m² , 内空高4.0m

②貯留量1,127m³ , 設置面積 497m² , 内空高3.0m

田原本町産業建設部まちづくり建設課



平成30年度 雨水貯留施設詳細設計委託業務

H30.11.9～H31.3.28

令和元年度 社会福祉協議会駐車場他雨水貯留施設整備工事

R1.9.18～R3.1.29

雨水貯留施設ポンプ設備等詳細設計委託業務

R1.5.17～R2.2.28

令和2年度 社会福祉協議会駐車場他雨水ポンプ施設整備工事

R2.6.12～R3.3.29

総事業費 約5億3千万円

内訳 国費 約3億5千万円
県費 約9千万円
町費 約9千万円

大和川流域における水害対策の取り組みと特定都市河川の指定

「大和川流域総合治水対策協議会」が発足（昭和58年）

総合治水対策を進めるための「大和川流域整備計画」を昭和60年に策定し、対策を進める。流域自治体毎に貯留目標値を定め、ため池治水利用や雨水貯留浸透施設の整備を推進。

流域対策の取組が進まないこと、小規模開発の増加及びため池の減少による河川への流入量の増加、浸水区域における土地利用等の総合治水における新たな課題が発生

奈良県にて、大和川流域における総合治水の推進に関する条例が制定（平成29年）

「ながす対策」「ためる対策」「ひかえる対策」の三本柱で総合治水を推進し、課題解決を目指す。

平成30年5月に奈良県主導により、大和川流域内における内水被害地区の解消にむけた奈良県平成緊急内水対策事業が発足

本町では、社会福祉協議会駐車場他雨水貯留施設整備完了、その他箇所についても、雨水貯留施設整備事業整備に向けた取り組みを実施。

町内水利組合のご協力のもと、治水機能を持つため池の改修を実施（宮古池）。

IoTを活用した水位監視システムや堰開閉監視システムを導入。

準用河川等に堆積している土砂の浚渫事業を実施。

「流域治水関連法」が令和3年11月1日に施行

近年の全国各地で水災害が激甚化・頻発化していること等に対応し、国や流域自治体、企業・住民等、あらゆる関係者が協働して取り組む法律が制定

流域治水関連法の施行後、

全国初で大和川流域が特定都市河川に指定される

河川整備の加速化、貯留施設の整備、ため池の治水利用、浸水被害防止区域や貯留機能保全区域の指定を推進

田原本町は、関係機関と連携・協力をして流域治水の更なる推進を図るとともに、水害リスクを踏まえた総合治水対策をより一層強化し、安心・安全のまちづくりを推進

・引き続き、奈良県平成緊急内水対策事業、流域貯留浸透事業、緊急浚渫推進事業、緊急自然災害防止対策事業等の水害対策事業に取り組む。

・貯留機能保全区域等の指定についての検討を行い、地域や地権者等の関係者にこれら区域等の指定についてご理解ご協力をいただけるよう、国や県に対し支援等を要望。